

第 36 回 全国大学版画展

The 36th Annual Exhibition of the Association of Japanese Art Colleges

開 催 要 項

美術系大学を中心とする教育機関は、美術界を支える大きな基盤として重要な役割を果たしてきました。版画を専門に指導する教室が大学に設置されるようになったのは 1950 年代のことです。大学版画学会は、版による造形表現の研究と大学教育の発展を求めて発足し、その活動はすでに四半世紀以上におよびます。各大学は版画分野の大学院や専攻科を新設・増設して一層の拡充をはかり、学会の規模を充実させてきました。

今年で 36 回目を迎える全国大学版画展ですが、町田市立国際版画美術館では 1987 年の開館以来、本展を毎年開催してきました。本展は各大学関係者にとって年に一度の成果を問う重要かつ貴重な機会です。出品される学生たちの版画は、大学で修得した技術を発表するだけでなく、版画や美術の概念そのもの

への挑戦や社会へのメッセージを含み、優れた表現をみせるものでもあります。初期に出品した学生たちの中には、現在、作家として多方面で活躍する人々もみられます。その意味で、本展は限りなき可能性を秘めた展覧会であり、版画の将来を計る催しといつてよいでしょう。

本展は次代を担う若い人々の制作発表の場にとどまらず、社会・美術館・大学との一体化を図る新たな意義をも備えております。第 18 回展より設けられた「観客賞」、学生の版画作品を販売するコーナー、そして「公開ワークショップ」など、さまざまなイベントは町田市民や版画ファンのあいだにも定着し、毎年恒例のこの催しを楽しみにしている人たちも大勢いらっしゃいます。版画を通じて、多くの方々に学生とのコミュニケーションを持っていただくことを願っています。

会期・会場 2011 年 12 月 3 日(土)～12 月 18 日(日) 月曜休館
町田市立国際版画美術館 第1・第2企画展示室

開館時間 平日 午前 10:00～午後 5:00(入場は午後 4:30 まで)
土・日曜日 午前 10:00～午後 5:30(入場は午後 5:00 まで)

主催 町田市立国際版画美術館、大学版画学会

観覧料 無 料

出品内容 全国の美術大学・教育系大学・短期大学・専門学校で版画を専攻する学生の版画約
260 点
参加校 54 校

関連催事

① 大学版画学会研究発表

大学版画学会員の研究成果を発表します。

12月3日(土)

時間／午後2時30分～3時45分

発表者／笠原健司（金沢美術工芸大学大学院 修士課程特別科目等履修生(芸術学)在籍）

「ゴヤと18世紀後半の版画技法」

池田 潤（多摩美術大学大学院 美術研究科博士後期課程版画専攻3年在籍）

「東京国際版画ビエンナーレ展からみる版の存在」

会場／町田市立国際版画美術館 講堂 聴講自由

② 公開ワークショップ

テーマ:ゼラチン版画技法<コロタイプ>

講師:便利堂 工房長 山本 修 氏

12月4日(日)

時間／午前10:30～12:00

会場／町田市立国際版画美術館工房 見学自由

* 受講者の一般募集はありません。

③ 観客賞—投票すると、版画作品を抽選でプレゼント!

会期中、皆様の投票により「観客賞」を選びます。投票いただいた方の中から抽選で5名様に、展覧会出品者である学生たちを教育の現場で指導するプロの版画作家による作品をプレゼント。毎年、多数の投票がある人気の企画です。プレゼント版画作品の作者は大島成己（京都嵯峨芸術大学）、田中孝（倉敷芸術科学大学）、日向野桂子（個人会員）、平垣内清（宮城教育大学）、古谷博子（多摩美術大学、日本大学芸術学部）です。

④ あなたのお部屋に版画はいかが?～学生版画販売

美術館エントランス・ホールにて販売します。低価格で「本物」を手に入れるチャンスです。”まとめ買い”する方がいるほどの高い人気を誇ります。よいものはお早目に!なお、純益の一部が町田市立国際版画美術館の活動にあてられます。

問い合わせ

町田市立国際版画美術館 担当:学芸係 河野結美、高木幸枝

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1 Tel:042-726-2771/0860 FAX:042-726-2840

大学版画学会展覧会事務局

女子美術大学相模原キャンパス 担当:馬場章、清水美三子

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900

Tel.042-778-6635 FAX 042-778-6635 (同大学版画研究室 直通)

同時開催

常設展示室「チベット密教版画 その未知なる世界」(2011年12月23日(祝)まで)